

マニュアルの電子化・動画活用講座【会場・オンライン同時開催】（4125231）

良いマニュアルを作って有効活用してもらうための講座です。どういう風にマニュアルを作ったら良いのか、どのように見せるのが効果的か、基本から考えていきます。文書を作成する場合、デジタル化し電子化するのが標準仕様です。電子化のためには、基本的な注意点があります。特にマニュアルの場合、どんな形式で作成していくのが重要です。

開催日時	2025年12月16日(火) 10:00-17:00	
JUAS研修分類	ビジネススキル(ビジネス・コミュニケーション)	
カテゴリー	業務遂行スキル <b>専門スキル</b>	
講師	丸山有彦 氏 ( m y コンテンツ工房代表：業務改革・文書コンサルタント ) 1962年生まれ。専門学校にて講義およびテキスト作成に従事。同時に歴史研究者に師事し基礎研究法を学ぶ。その後、失語症の言語訓練を研究、渋谷失語症友の会副会長。訓練法を子供の作文指導、職業訓練に応用。その経験から新しい日本語の文法を構築する。現在、企業向けにビジネス文書、文章の指導を行っている。m y コンテンツ工房代表。渋谷油絵教室代表。 ブログで情報発信をしております。 ご興味ある方はご覧ください。 http://mycontentslabo.com/	
参加費	J U A S 会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】	
会場	一般 <b>社団法人日本情報システム・ユーザー協会</b> （NBF東銀座スクエア2F）	
対象	マニュアルに関心のある方 <b>中級</b>	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）	
ITCA認定時間	6	

主な内容

■受講形態

【選べる受講形態】

A. 会場にてご参加

B. オンラインにてご参加：【[セミナーのオンライン受講について](#)】

■テキスト

A. 会場にてご参加：当日配布

B. オンラインにてご参加：開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項

特になし

◆当講座はオンライン参加も可能な講座となります ◆

良いマニュアルを作って有効活用してもらうための講座です。

どういう風にマニュアルを作ったら良いのか、どのように見せるのが効果的か、基本から考えていきます。

文書を作成する場合、デジタル化し電子化するのが標準仕様です。

電子化のためには、基本的な注意点があります。

特にマニュアルの場合、どんな形式で作成していくのが重要です。

■主な内容

1 マニュアルの3系統

1-1 業務マニュアルの特徴

1-2 操作マニュアルの特徴

1-3 O J T ・トレーニング用マニュアルの特徴

- 2 マニュアルの内容と作成の再検討
  - 2-1 マニュアル概念の変化
  - 2-2 記述内容と形式の変化：有効活用に不可欠な配慮
  - 2-3 作成方法と作成計画
- 3 電子化の影響：文書作成上の注意
  - 3-1 紙と電子の違い：電子化を成功させる作成方法
  - 3-2 文書の形式・レイアウトの基本
  - 3-3 生成A I（チャットボット）導入の前提
- 4 電子化マニュアルの成功モデル
  - 4-1 標準化モデル：「誰に・何を・どのように」
  - 4-2 電子化を成功させるためのステップとノウハウ
  - 4-3 電子化マニュアルの目標と効果
- 5 動画の活用
  - 5-1 動画とマニュアルの関係
  - 5-2 動画作成の条件：限界を見極める
  - 5-3 動画の利用と効果
- 6 マニュアルの有効活用
  - 6-1 有効活用の仕組み：利用者と利用方法
  - 6-2 生成A Iの導入とマニュアル作成
  - 6-3 マニュアルの検証：作成者に求められること